



【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、11月6日現在、竹島の南2.9マイル付近にあり、接岸している。

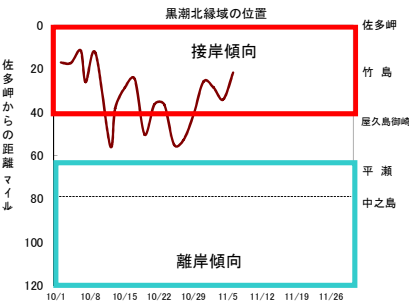
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、11月5日現在、24マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、与路島で変わらず、その他の海域で0.1～1.1℃降温した。

平年比較では、与路島、甌海峡で“かなり高め”、鹿児島、屋久島御崎、笠利崎で“やや高め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	25.7	-0.5	-0.1	平年並
鹿児島	23.6	-0.6	+1.0	やや高め
佐多岬	23.5	-1.1	-0.1	平年並
竹島	24.8	-0.4	+0.2	平年並
屋久島御崎	25.5	-0.5	+0.4	やや高め
中之島	25.5	-0.6	+0.0	平年並
笠利崎	25.8	-0.6	+0.7	やや高め
与路島	26.4	+0.0	+0.9	かなり高め
与論	26.0	-0.7	+0.3	平年並
甌海峡	24.1	-0.1	+1.5	かなり高め

鹿児島一那覇定期客船観測は11/6-7
串木野一鹿児島定期客船観測は11/6

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、マジン(50g)が0.4～15トン/日、サハ類(100～200g)が300kg/日、ムロアジ(150～200g)が200kg/日、サワラ(600g)が100～200kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、カンパチ(1～1.5kg)が70～350kg/日、ハカツオ(1.4～3kg)が70～150kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でゴマサハ(500g)が1.8トン、ムロアジ(200g)が520kg、シイラ(5～6kg)が413kg、カマサワラ(5～20kg)が250kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で47統がムロアジ、カマス類、ソウダガツオ類主体に14トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でフリ、ヤマトカマス、ヘダイ主体に13.3トンの入網。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3.5～4kgを20～400尾/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、1～1.5kgを300尾/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、3～7kgを52～115尾/隻・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ羊釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2780報)							
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量			
旋網	阿久根	大	2	101	長崎	ウルメイワシ87	サハ類豆9	50.3	6	246	7	278	
		中	12	60	野間池沖 長島 阿久根沖 宇治	ウルメイワシ21	サハ類豆19	マジン仔13	5.0	9	53	3	37
	枕崎	大	9	296	臥蛇島 島間沖	クサヤモロ小33	クサヤモロ豆33	クサヤモロ中小9	32.9	12	359	7	288
		中	12	569	種子島南 口之島 開聞沖	クサヤモロ豆55	クサヤモロ小15	ウルメイワシ12	47.4	21	513	22	606
	内之浦	中	0	—				—	0	—	0	—	
	山川	中	0	—				—	0	—	0	—	
計	大	11	397				36.1	18	605	14	566		
	中	24	628				26.2	30	566	25	643		
東海旋網	阿久根	0	—				—	0	—	0	—		
	枕崎	1	103	マサハ豆84	マジン中小13	102.7	0	—	0	—			
棒受網	阿久根	36	65	阿久根沖 長島	ウルメイワシ67	サハ類豆13	キビナゴ11	1.8	24	28	22	22	
	内之浦	0	—				—	0	—	0	—		
定置網	内之浦	47	14		ムロアジ15	カマス類15	ソウダガツオ類12	0.3	37	17	50	17	
刺網	阿久根	55	6	甌 川内沖 長島 牛深沖	キビナゴ100		0.1	49	5	40	4		
カツオ羊釣	枕崎	大	0	—			—	0	—	0	—		
		小	0	—				—	0	—	0		
	海旋	1	484	カツオ中63	キハダ28	カツオ大7	484.1	2	1704	0	—		
海外旋網	山川	中	4	24		キハダ61	カツオ小35	6.0	3	27	5	49	
		海旋	1	750		キハダ50	カツオ小27	カツオ中11	749.7	1	722	0	—

○パシオウカジキ情報

流し網では、甌島海域で21～33kgが3～7尾/隻・日の漁。定置網では、週計で西薩南部海域では30kgが3尾、鹿児島湾口部薩摩半島側では33kgが2尾、鹿児島湾口部大隅半島側では20kgが2尾の漁。

○トビウオロープ曳網

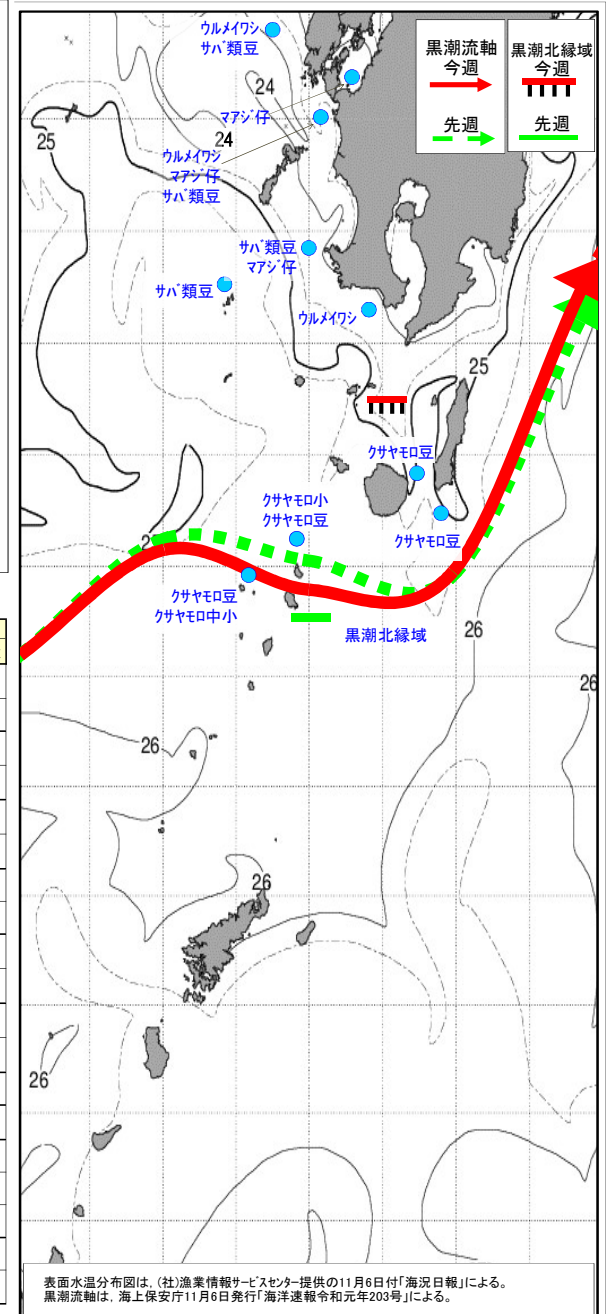
屋久島海域では、中ビを42～137箱/統・日の漁。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、5～12箱/隻・日の漁。

○その他

甌島海域では、曳網でキハダ(1～2kg)を50kg/隻・日の漁。西薩海域ではごち網でマダイ(1kg)を6～50kg/隻・日の漁。一本釣りでメジナ(0.5～1kg)を50kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒケナガエビを50～200kg/隻・日の漁。鹿児島湾口部薩摩半島側では、一本釣りでゴマサハ(600g)を70～80kg/隻・日の漁。熊毛海域では、かかり網でアサヒガニ(350g)を30kg/隻・日の漁。一本釣りの2日操業でアオダイ(1.5～2kg)を300kg/隻、日帰り操業でゴマサハ(600～700g)を50～60尾/隻、ハマダイ(3～4kg)を40～50kg/隻、メダイ(4～6kg)を70kg/隻、カンパチ(4～5kg)を40～50kg/隻の漁。奄美南部海域では、旗流しの3～4日操業でソデイカ(胴体のみ3～7kg)を14～34ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の11月6日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁11月6日発行「海洋運報令和元年203号」による。